



前記切り換え時間隔抽出ステップにおける抽出結果に依  
 じて前記特定番組を識別する識別ステップと、を有して  
 なる方法とする。

また、前記音声強化抽出ステップは、前記音声信号の  
 多重化を抽出する音声多重抽出ステップを有してなる方  
 法とする。

また、前記音声変化検出ステップは、前記音声信号のレベルの変化を検出する音声レベル検出ステップを有してなる方法とする。

また、前記映像信号の変化を検出する映像変化検出ス  
 ャップを有し、

前記切り換え部分検出システムは、前記映像変化検出システムの検出結果を用いて番組の切り換え部分を検出する。

また、前記個別ステップは、前記切り換え間隔後出ステップにおける換出結果が実質的に所定の間隔であることにより、前記特定番組を識別する。

また、前記特定番組は、コマースナルであることを特  
徴とする。

**【作用】**

番組の切り換え部分を抽出し、このときの切替時間間に  
より、特定番組を正しく識別することが可能となる。ま  
た、音声信号の多重化、音声信号のレベルの变化、録音  
信号の強化などを組み合わせて抽出することにより、確  
実に特定番組を識別できる。

**【案例例】**

[illegible]

図面において、制御装置 2 と磁気記録再生装置 1 とは、コネクタ 1-1、2-2 で接続されている。

図8は、動員生数量1対動員モードの場合には、入力切り換えとスライダ3がチューナ11周(3-a)に接続され、同放電分析部14では受信した放送の廣播帯音声信号をその周波数分析を行う。そして、出力切り換えスイッチ16の両端をそれぞれ10-15周(10-a)に切り換え、分倍率果をメモリーリコーダー17の記録する。次に、出力切り換えスイッチ16を比較用として、10-15周(10-b)に切り換へ、現時点での測定結果をメモリに記憶し、図9に示すように、

[illegible]

また、磁気記録再生装置に於ける再生モードの場合は、入出力切換スイッチが13がデータ信母周波数10MHz（13—14）の間に切り換わり、磁気記録再生装置で再生したデータは音信号用の周波数帯域を行き、そして、再生したデータはオーディオインターフェイス等に受け渡され、これを聴知する。このようにして、磁気記録再生装置1の動作を音声信号用に受変することになり、オーディオインターフェイス等の利用は可能となる。

第四図は本発明による磁気記録再生装置の第二の実施形態を示すブロック図であつて、第1図と同様に、再生用及び録用双方の動作を行うことができる。再生時には再生ヘッド18と再生増幅器19を用いて再生し、オーディオインターフェイス20を通じて外部へ送り出す。録用時にはオーディオインターフェイス21からオーディオ信号を受け取り、オーディオ増幅器22を経て録写ヘッド23によりテープに記録される。

同図において、入力切替スイッチ3は第1図と同様に、磁気記録再生装置1が録音モードの場合は、チャネル1に、磁気テープ10の再生ヘッドはビデオ信号1の地磁路10a(13-a)に切り換えられている。

そして、画像処理部20において、録音または再生中の映像データ10を処理し、コマンドチャンネルのタイトルや字幕等の時間間隔の文字データを抽出する。この処理結果は家庭用パーソナルコンピュータ等のワークステーションと接続し、比較演算により所定処理時間21内のワークステーションに切り換える。

また、図1と同様に、リレーコンソール部19から送られる映像データは、第1図と同様に、リレーコンソール部7で受信され、所定の動作が行われる。

さらに、この実施例では、番組の時間変更で表示される「以降の番組は、30分繰り下げて放送します。」等の文字パターンを抽出し、録画予約のタイマー（図示せず）と連動して、自動的に番組の放送時間変更に対処することも可能となる。

第3図は本発明による記録再生装置の第三の実施例を

示すブロック図であって、第1図、第2図と同一部分に

この実施例は、前記第1図、第2図の実施例と比較して、メモリーやバッテリーを保持する必要がないため、簡易な構成で低価格化が可能となる。

第4図には、これは、その順序関係が異なる。第4図は、その順序関係を示すブロック図であって、第1図・第2図・第3図と同一レベルの變化に、分には、一文字を付してあり、23は第4図の切り換えより前面切り換えを抽出する抽出部、24は後面の切り換え間隔を計算するタイマー、25は后面の切り換え間隔によりコマ・シンクロかどうかを判定する判断部である。

同図において、輸出部23は、穀類または野生中の園豆の切り換えのタイミングを抽出し、タイムゾーンにより次の面豆切り換えまでの時間を計測する。通常、コマーションは一定の間隔で放送されることが多いため、この面豆切り換えの間隔により、コマーションかどうかを判断部28で判定する。

この実施例も、前記第1図や第2図の実施例のように、メモリーやバッファデータを必要としないため、簡易構成で低価格とすることが出来る。

第8図は本発明による記録再生装置の第五の実施例を示すブロック図であつて、第1〜第4図と同一部分には同一符号を付してあり、26は音声多重信号の切り換えを演出する音声多重信号検出部である。

同図において、録音中の放送の音声多重信号の切り換  
えのタイミングを音声多重信号検出部28で検出し、タイ  
マー24によりその間隔を計測し、判断部26においてコマ  
ーシャルかどうかの判断を行う。

この実施例では、通常の放送からコマーションナルに切り替わる際に、音声多重放送が切り替わることを利用しており、メセリなどを必要としないため、簡易構成で圧縮格化が可能である。

[illegible]

同図において、判断部25において検出または発生中の信号でコマシーナルを検出した場合に、入力要求表示部27により使用者に対して磁気記録再生装置1の動作を変更してもよいかを入力するよう表示する。

これに対して、使用者は外部リセコン28により応答し、その送信信号は外部リセコン受信部29からシステム制御部18に送られ、磁気記録再生装置1の最終的な動作が決定される。

この実施例によれば、最終的な判断が使用者にまかせられるため、コマンドの判定が確実となる。

また、入力要求表示部27の表示は、光や文字、さらに音声や触覚などが兼えられる。

また、コマシヤルの輸出をより確實とするために、以上説明した各案並例を組み合わせることも可能である。

第7図は本発明の実施例に係る記録再生装置の外観を示す斜視図であつて、上記各實施例の図面と対応する部  
分には同一符号を付してあり、30はリモコン送信部19を  
制御する保持部21に対して保持する保持部材である。

同図に示すように、前部装置2を磁気記録再生装置1の上部に取付け、前部装置2のリモコン送信部19を磁気記録装置1のリモコン受信部7に対応する位置に保持し、前部装置2の送受信を行う。

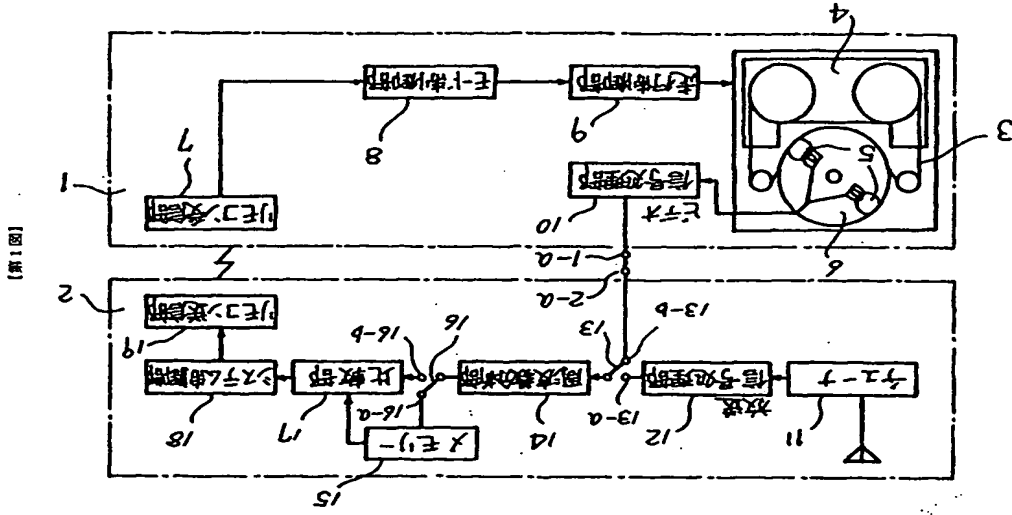
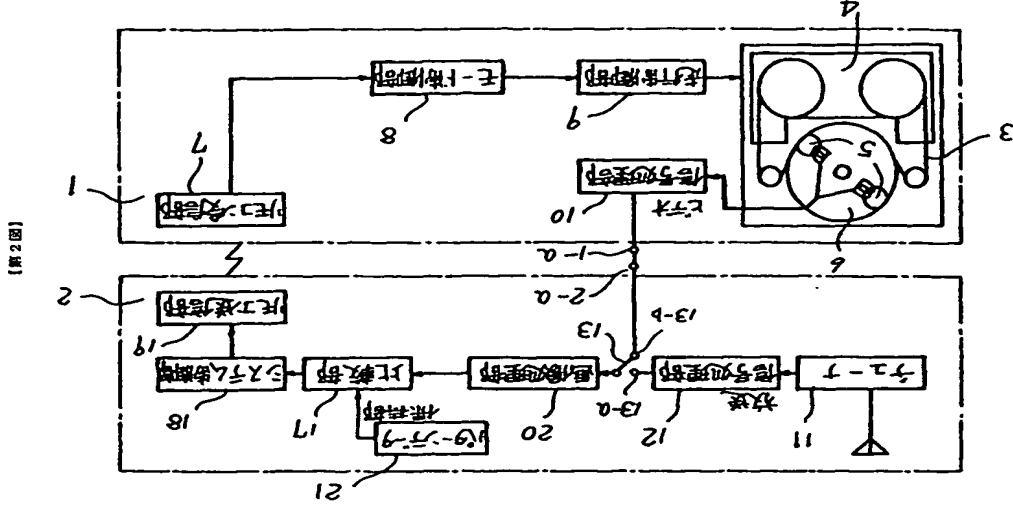
第8図は第一図の要部拡大図であって、第8図と同一の符号を付し、3は前部装置2とリモコン送信部19を接続する接続部である。

同図に示したように、供試材料30をジャバラ状の構造とすることにより、浸透する磁気記録再生装置1のリヤコン受槽7の位置に自由に対応することができ、取付の種々の磁気記録再生装置に本発明を適用することができ、

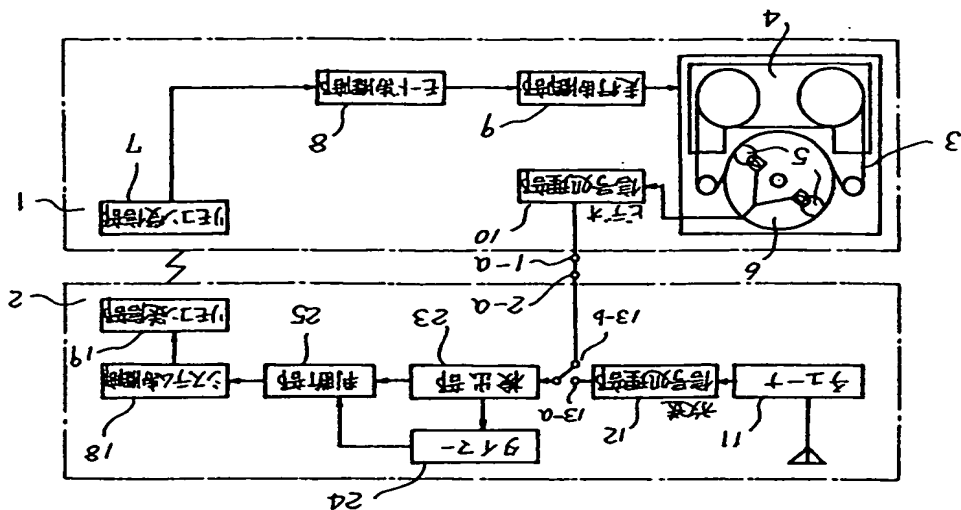
(発明の効果)  
以上説明したように、本発明によれば、特定番組を購  
客に識別可能の種れた特定番組識別装置及びその方法を  
提供することができる。

「文庫の集まる場所」

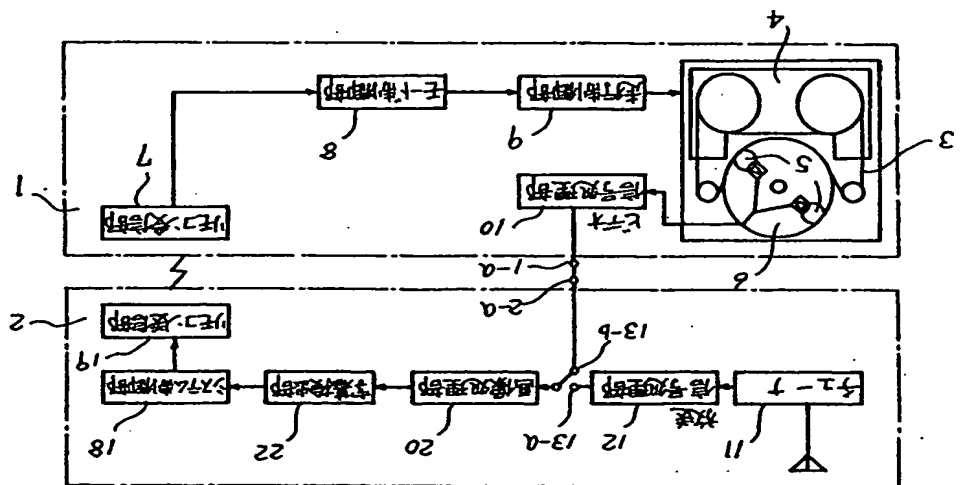
[illegible]



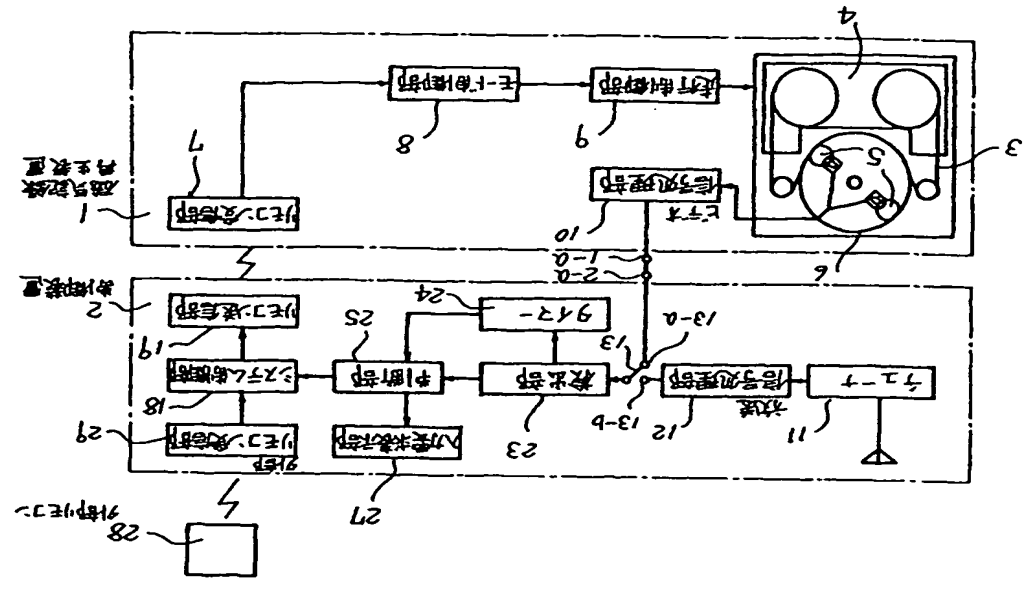
【第4図】



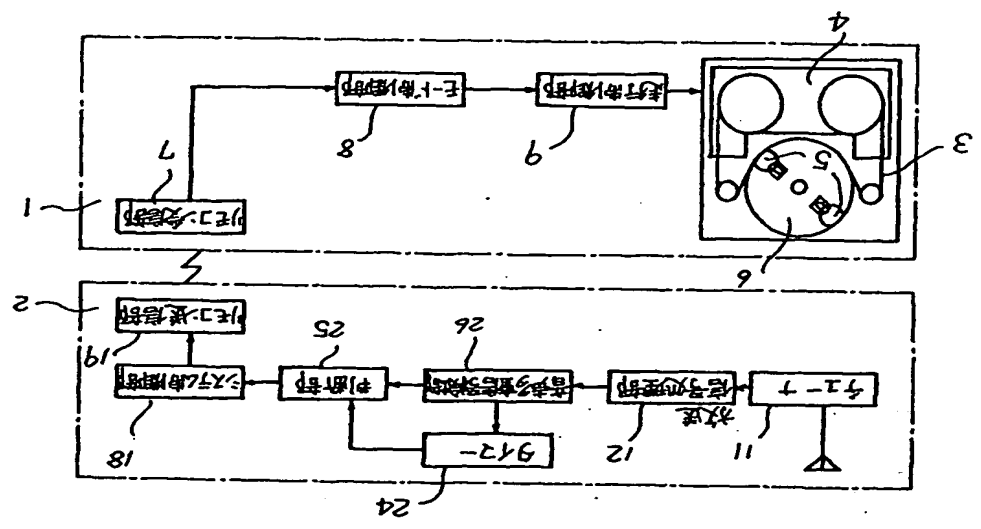
【第3図】



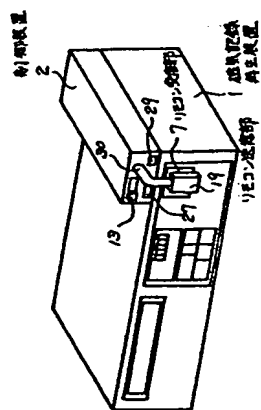
【第6図】



【第5図】



【第7図】



【第8図】

